

陳情第141号

令和7年12月11日

川崎市議会議長 原 典 之 様

中原区

等々力緑地を守る会

共同代表

ほか 1,476名

再編整備事業費削減のために現とどろきアリーナの継続使用を
求める陳情

陳 情 の 要 旨

- 1 事業費削減のため、現とどろきアリーナの継続使用を求めます。
- 2 新たな緑地の魅力再生のためにも、ミュージアム跡地に新しい市民プールの建設を進めてください。
- 3 催し物広場は、市民の交流と憩いの場所及び防災対策の拠点として、今の場所で維持してください。平置きに変更した駐車場は交通安全の目的から、緑地北側の下水処理場に設置してください。

陳 情 の 理 由

今等々力緑地では再編事業が進み、大工事が始まろうとしています。市民ミュージアム解体後の跡地には新しいアリーナを建設することが提案されていますが、この建設費だけで250億円が予定されています。現在のとどろきアリーナは築30年、再整備すればまだまだ使えます。

また、市には新しく京急川崎駅近くに1万5,000人収容のアリーナ建設計画が進められており、また、武蔵中原駅近くにも富士通アリーナ建設計画があります。とどろき新アリーナ建設は必要ありません。

新アリーナ建設計画に含まれているプールの建設は、長年市民が求めていた

願いであり、市もプール建設を繰り返し約束していたものです。旧市民ミュージアム跡地には新たな森とともに1年中使えるプール施設を作り、豊かな緑に囲まれた市民が憩える場所として再整備してください。

これにより事業費削減とともに、子どもから大人まで憩い、楽しめる緑地となることを願っています。